

視察報告書

- 1 視察日時：令和4年4月21日 10時00分～16時00分
- 2 視察先：「真庭めぐりガーデン」・「道の駅久米の里」・「道の駅醍醐の里」
- 3 視察目的：赤磐市において「道の駅」建設の計画が有り、近隣施設を視察することによりその参考とするため。
- 4 視察参加者：産業建設常任委員会委員
 - ・金谷文則 ・治徳義明 ・実盛祥五
 - ・佐藤武文 ・佐々木雄司 ・鼻岡美保

5 視察概要

まず、真庭市に在する「真庭めぐりガーデン」において、三村支配人によるSDGsを念頭に置いた官民協働市域全体での取り組み紹介を受け、地場食材を利用した料理の昼食を体験した。

次に、「道の駅久米の里」では、津山市職員からの道の駅周辺環境の説明と道の駅責任者からの施設概要説明を受ける。

次に、真庭市にある「道の駅醍醐の里」会議室において真庭市職員からの紹介並びに会社組織の説明を取締役並びに支配人より受ける。設立の手順や問題点などの説明を受けた後、質疑応答を行った。

6 所感

視察した施設で共通して言えることは、主体が主に民間で、それをうまく行政がフォロー、サポートして市民の為に行政が汗をかき、それにみんなが答えている。「道の駅」を作りたいとする市民からの強い要望があり、それを行政が受け止め「道の駅」と言う会社の経営は主として市民が参加する形としている事が成功の秘訣のように感じた。今の赤磐市の「道の駅」の進め方は、行政主導で、作って与える感が否めない。まず、市民の強い要望が有り、それを運営しやすく行政がサポートしていく事が必要で、企画段階から市民参加型で進めなければ成功しないように感じた。今回の視察で感じた事は、以前成功事例として視察した広島での「道の駅」のスタートから運営の仕方と共通する点が多かった。運営意欲のある者の参加が必須だ。

以上